

町史だより



『西原町史』 発刊に向けて

西原町史編集の主な仕事は、文献資料や聞き取り調査によって明らかになったことをまとめ、『西原町史』として発刊することです。西原の先人たちが残した文化や歴史は正確に記録・保存し、大切な遺産として、継承していくべきものです。それらを広く町民の皆さんに知ってもらい、西原町への理解と愛着を深め、これからの町づくりを活かしていくためにも大変重要なことです。



現在、西原町立図書館では『西原町史』第9巻・資料編8「西原の言語」の発刊に向けて、西原町内の十五集落を中心に基礎語彙・動植物・地名・屋号などの方言調査を行っています。

基礎語彙については呉屋・小那覇・与那城の三集落が調査中で、十二集落については調査終了しております。約一千語の基礎語彙について調べているのですが、それ以上の語数

が出ており、大変貴重な資料となっております。

動植物方言については、津花波・内間・嘉手苅・与那城の四集落で調査中です。例えば、最近香りが感じられるようになってきたクチナシの花については、方言名を「カジマヤーギー」と言うそうです。これは花に枝をさしてカジマヤー（かぎぐるま）を作って遊んだことに由来するようです。花の他にも、実はソーミナー（めじろ）のエサにしたり、染料としても使っていたとのこと。このような楽しいお話も色々と聞くことができます。

地名調査については、徳佐田・上原・呉屋・小橋川・内間・嘉手苅・小那覇・仲伊保・与那城・池田・小波津の十一集落が調査中です。例をあげると、我謝にクガニムイ（黄金森）あるいは、クガニムイグワーと言う場所があります。この名前の由来はガージャカキブクという屋号のムートウヤーが、夏前にクガニムイに衣装を干しており、その上等な着物を干しているさまが、クガニ（黄金）の花のようだということからこの名前がついたとのこと。

屋号調査についても幸地・徳佐田・

森川・千原・上原・掛保久・小那覇・仲伊保・伊保の浜・兼久・与那城・池田の十二集落で調査を継続中です。

調査は、町民の皆さんのご協力がなければ実行することができません。幸い、調査意義を理解していたいただき、快く応じてくださる方々ばかりで、調査は順調に進んでおります。これまでの皆さんのお力添えに感謝申し上げます。

これからも、西原人のことばをひとつでも多く記録できるよう頑張っていきますので、引き続き調査へのご協力をお願い致します。

これまでに発刊された『西原町史』は、デジタル化しており、町立図書館内の地域情報コーナーのパソコンで、ページごとに読み進めていくことができます。また、キーワード検索をすることもできますので、調べものをするのにとっても便利です。タッチパネル形式で、画面に触れるだけで簡単に操作することができますので、ご来館されたときには、ぜひご覧ください。



全巻セットで1万円お得！

『西原町史』

- | | | | |
|--------------|---------|------------------|---------|
| 第2巻「西原の文献資料」 | ¥1,500- | 第7巻「西原の産業」 | ¥900- |
| 第3巻「西原の戦時記録」 | ¥1,500- | 別巻「西原の民話」 | ¥1,800- |
| 第4巻「西原の民俗」 | ¥1,800- | 『戦災被災者記録』 | ¥900- |
| 第5巻「西原の考古」 | ¥1,200- | 付属刊行物「西原町の自然」 | ¥300- |
| 第6巻「西原の移民記録」 | ¥1,200- | ガイドマップ「西原の自然と文化」 | ¥100- |

